

現地体験後の活動

現地体験で各地域について理解を深めた「ふるさと活動隊」は、東京での活動として、物産販売の協力、現地体験の活動報告、明治大学4キャンパスでのパネル展示企画を行いました。これらを通じて、微力ながら各地域の魅力発信に貢献するだけでなく、3地域の「ふるさと活動隊」が交流することで、学生同士のネットワークを広げることもできました。

明治大学ホームカミングデーでの活動（10月28日）

《鳥取・天童・鯖江物産販売の補助》

ホームカミングデーは大学の卒業生を招き、教授陣の講演会や在学生によるキャンパスツアー、サークルやゼミ発表、理系学部による子ども向けワークショップなどを行う大学イベントです。毎年4千人～5千人の卒業生やその家族が参加し、母校でのひとときを過ごしています。

今年もホームカミングデーでの物産展に、「ふるさと活動隊」が協力し、鳥取・鯖江・天童から出店された各地域の物産品を販売する店舗でのお手伝いをしました。



現地体験で学んだ地域の魅力を来場者に伝えました

《「宮城浩蔵賞」受賞中学生のキャンパスツアー（天童）》

天童市の中学生4名と保護者の皆様、教員委員会の職員の方を明治大学にお招きし、ホームカミングデーを楽しんでいただくとともに、「ふるさと活動隊」が駿河台キャンパスを案内し、大学の施設を見学いただきました。ツアーの最後には、土屋恵一郎学長、竹本田持副学長、矢ヶ崎淳子社会連携副機構長と面会し、大学での学生生活のことから、今後の自分たちの進路のことなどについて懇談を行いました。



明治大学に関するレクチャー



さらなる活躍にエールが送られた



学長と記念撮影

《夏の現地体験活動報告会》

ホームカミングデーの催しの一つとして、夏の現地体験での学びをパワーポイントにまとめ、お世話になった各自治体職員の方々や「宮城浩蔵賞」受賞中学生、一般来場者を前に「ふるさと活動隊」による活動報告会を行いました。夏の現地体験を終え、得た学びや発見を各グループで整理し、成果として発表しました。



明治大学4キャンパスでの成果パネル展

《成果パネル展》

＜和泉キャンパス＞

期 間 10月2日～10月9日

場 所 第1校舎1階ロビー



＜駿河台キャンパス＞

期 間 10月22日～10月31日

場 所 アカデミーコモン1階展示ギャラリー



<生田キャンパス>

期 間 11月12日～11月19日

場 所 中央校舎1階ロビー



<中野キャンパス>

期 間 12月10日～12月17日

場 所 低層棟1階 アトリウム



<父母交流会（駿河台）>

日にち 11月25日

場 所 リバティタワー1階1012教室

※講演会「創業者の眼差し」（村上一博法学部長、野尻泰弘文学部准教授）会場に展示



各自治体の皆さんをはじめ、たくさんの人の協力があって、
今年度の活動を終えることができました！有難うございました！